

大阪・関西万博関係府省庁連絡会議（第4回）
議事要旨

日 時： 令和4年6月10日（金） 14：00～14：40

場 所： 中央合同庁舎第4号館 1208特別会議室

出席者：

（議長）	国際博覧会担当大臣	若宮 健嗣
（副議長）	内閣官房国際博覧会推進本部事務局長	新原 浩朗
（副議長）	経済産業省商務・サービス審議官	畠山 陽二郎
	内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長	高科 淳
	内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長	長田 敬
	内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長	益田 浩
	内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長	渡辺 健
	内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）	木村 聡
	内閣官房危機管理審議官	下田 隆文
	内閣官房内閣広報室内閣審議官	渡邊 清
	内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局審議官	武井 佐代里
	内閣官房新型コロナウイルス等感染対策推進室内閣参事官	那須 基
	内閣府政策統括官（防災担当）	榊 真一
	内閣府男女共同参画局長	林 伴子
	内閣府地方創生推進事務局企画官	菊田 逸平
	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官	橋爪 淳
	警察庁長官官房企画課長	早川 剛史
	消費者庁次長	高田 潔
	デジタル庁国民向けサービスグループ企画官	鈴木 崇弘
	復興庁統括官	林 俊行
	総務省大臣官房企画課長	伊藤 正志
	出入国在留管理庁出入国管理部長	丸山 秀治
	外務省経済局2025年日本国際博覧会室長	田公 和幸
	財務省大臣官房政策立案総括審議官	水口 純
	文部科学省大臣官房政策課長	奥野 真
	文化庁審議官	中原 裕彦
	厚生労働省大臣官房審議官（総合政策担当）	横幕 章人
	農林水産省大臣官房総括審議官	安東 隆
	国土交通省総合政策局次長	加藤 進
	観光庁次長	村田 茂樹
	環境省大臣官房総合政策課長	福島 健彦
	防衛省大臣官房文書課長	吉野 幸治
	2025年日本国際博覧会協会経営企画室長	岩田 泰

1. 冒頭挨拶

○若宮大臣

- ・本日は、お忙しいところお集まりいただき感謝。
- ・大阪・関西万博まで、3 年を切った。参加表明国は現時点で、119 の国や地域及び 7 国際機関に至った。まだ公表していない国も含めると、概ね 130 か国、目標のほぼ 9 割の国々から、参加いただく目途が立っている状況。今後、各国への招請活動に加えて、万博のコンセプトである「未来社会の実験場」の具体化や会場及び周辺インフラの整備、全国的な機運醸成など、政府一丸となって万博に向けた取組を加速させたいと考えている。
- ・「未来社会の実験場」の具体化に向けたアクションプランについて、関係府省庁の皆様にご協力いただき、本日、「2025 年大阪・関西万博アクションプラン Ver. 2（バージョン・ツー）」として国際博覧会推進本部で決定した。
- ・今回の改訂では、各事業の進捗や最新の技術、サービス、イノベーションの動向、また、地元の自治体や経済界からの要望、与党の議論や提言なども踏まえ、既存の施策の更なる具体化と新たな施策の追加について、幅広い視点で検討し、取りまとめた。
- ・今回の改訂においては、健康・医療、いわゆるライフサイエンス分野について、「再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信」を追加するなど、大きく拡充するとともに、世界の有識者や国際的な企業・団体に参加いただき、国境を越えた課題について議論し、ビジネスチャンスの創出に繋がる「テーマ Week（ウィーク）プロジェクト」なども盛り込んでいる。また、アクションプランの全ての施策に実施期間、実施場所、実施主体を記載することとし、着実かつ迅速な実施を図るなど、全ての施策をより具体化するとともに、施策の実施に向けた工程管理を行うべく、新たに工程表も追加している。
- ・本アクションプランは今後も改訂を重ね、さらに具体化、充実を図っていくこととしている。引き続き、各府省庁におかれては、スタートアップ企業をはじめとする多様なプレイヤーとの連携や、万博に合わせて国際会議やフォーラムなどを誘致して万博における展示やイベントと連携させるなど、既存の枠にとらわれず柔軟な発想で、積極的にご検討いただきたい。
- ・大阪・関西万博が日本全体の成長・発展の起爆剤となるよう、政府一丸となって進めていくので、皆様方の引き続きのご協力をよろしくお願いしたい。

2. 事務局等からの説明

○高科国際博覧会推進本部事務局次長

- ・昨年 12 月にアクションプランが策定され、半年に 1 回のペースで改訂することとしており、今回が最初の改訂となる。
- ・政府内での検討や、地元からの要望、自民党からの提言などを受け、あらゆる視点で検討してきた。その結果、今回の改訂で新たに 24 の施策を追加した。
- ・「アクションプラン Ver. 1（バージョン・ワン）」では記述が少なかったデジタルや健康・医療の分野について重点的に拡充している。
- ・それぞれの項目について、実施期間、実施場所、実施主体について記載している。すべての施策について工程表を追加し、今後、工程表に基づき施策を工程管理しながら、具体化

に向けた検討を進めてまいりたい。

- ・テーマ Week プロジェクトは、万博の開催期間中に、宇宙やヘルスケア、環境などのテーマを決めて、一定の期間、世界中から関係者、有識者、企業の方々に集まっていただき、セミナーやフォーラム、展示あるいはビジネスマッチングなどを集中的に開催するもの。
- ・地域ツーリズム促進事業は、万博を機会に、日本全国で様々なイベント等を実施しながら発信していただくことで、各地を訪れてもらうことを目指す。今回、各府省庁から地域ツーリズム促進事業に関連したプロジェクトを提案いただいております、これらを連携して実施することでより効果的な取り組みとなるため、今後引き続き議論させていただきたい。
- ・アクションプラン Ver. 2 策定の過程で、自民党からの提言の中に、開幕まで3年を切ったことを踏まえ、工程表に基づく工程管理を行い着実な実現を図るとともに実現のスピードアップも図るという提言をいただいておりますので、工程表に基づき着実にプロジェクトの具体化を進めるようにお願いします。

3. 各省からの説明

○畠山経済産業省商務・サービス審議官

- ・関係府省庁の皆様には、博覧会協会への職員派遣など大阪・関西万博への成功に向けてご協力いただき、感謝。
- ・若宮大臣からもご発言があったが、万博の開幕まで3年を切っており、残された時間は少ない。
- ・来年からは前売りチケットが販売される予定であり、この1年間で大阪・関西万博のプロジェクトの具体化・強化を図る要の年となる。
- ・経産省では、アクションプランの施策充実化を図るべく、省内の局長級職員を構成員とする本部会議を開催し、大阪・関西万博の成功に向けて取組を加速化することを合意したところ。
- ・今回の改訂で、エネルギー・環境で2施策、デジタルで4施策、健康・医療で1施策、観光・食・文化で2施策、科学技術・テーマプロジェクトで3施策の併せて12施策を新たに追加登録した。
- ・例えば、PHR サービスの利用者に対して EXPO ポイントと連携したインセンティブを用意する仕組みや未来志向の製品コンセプト、テクノロジー、ものづくり技術等を有する中小企業の魅力・価値の発信など幅広い施策を追加登録している。
- ・アクションプランは半年に1回程度改訂することとされており、引き続き、各施策の内容を深めていくとともに、来場者に感動を与えるような企画を考えていきたい。
- ・次期アクションプランの改訂に向け、関係府省庁の皆様と協力しながら、大阪・関西万博の成功に向けて取り組んでいきたい。

○林復興庁統括官

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を復興五輪と捉えて、被災地の復興の進捗状況や被災地産食材の魅力情報発信に取り組んできたが、コロナの影響でなかなか実食の機会に恵まれなかった。

- ・その意味では大阪・関西万博は、復興の進捗や被災地産食材の安全性や魅力情報発信を行う絶好の機会であると考えている。
- ・復興庁からは「観光・食・文化」の分野において、被災地の復興や食文化の情報発信や防災に由来する最新技術の情報発信に関する施策を改訂した。
- ・「被災地の復興や食文化」の情報発信については、国内外からの来場者の方々に被災地の食を知っていただき、実際に食べていただき、持って帰っていただくこと、「最新技術」の情報発信では被災地発の防災・減災に関する研究・技術の展示や先端技術を駆使した新たなまちづくりモデルの展示等について追加的に記載した。
- ・具体的な取組みについては、被災3県や関係省庁、その他関係機関と連携を取りながらさらに検討を深めていきたい。

○武井内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局審議官

- ・6月7日にデジタル田園都市国家構想基本方針が閣議決定され、大阪・関西万博や国際的なフォーラム等をデジタル田園都市国家構想に関連した国際的なイベントの機会と捉えるとともに、デジタル技術の活用による地域づくりの事例や食文化などの地域の魅力を海外に発信するクールジャパンの取組などとも連携し、デジタル田園都市国家構想のモデルとなる取組を海外に発信・展開することとしている。
- ・地方がイメージしやすい地域ビジョンの類型を提示し、地方公共団体へ構想実現に向けた取組を促すこと等を通じ、デジタル技術の活用による地方の魅力の磨き上げ等に取り組む実装モデルの好事例を積み上げていき、デジタル技術を有する関係企業等の協力も得ながらこれらの好事例を有機的に結びつけ、魅力的な地域づくりや文化・慣習について、大阪・関西万博会場内外で発信・展開する。
- ・大阪・関西万博は、デジタル田園都市国家構想の下で生み出される魅力あふれる地域づくりの成果を世界に示す千載一遇の機会であり、関係者の協力を得つつしっかり取り組んでいきたい。

○中原文化庁審議官

- ・大阪・関西万博は、文化芸術の力で我が国社会を発展させていくという観点からも重要な機会であると考えている。
- ・今回のアクションプランでは「日本博2.0の展開」を盛り込んでいる。
- ・文化庁ではこれまで、オリパラに向け、「日本の美」を発信する「日本博」の取組を進めてきた。
- ・先月、岸田総理出席の日本博総合推進会議において、大阪・関西万博が開催される2025年を新たなターゲットとして「日本博2.0」として全国に展開していくことを決定。併せて「日本博2.0」を活用して我が国の誇るべき文化芸術をグローバルに展開していくことを目指した政策パッケージ「WABI」を示したところ。
- ・会議においては、総理からも、「日本博2.0」は、様々な方々の参画で新しい価値創造を進め、文化の力で、社会課題の解決と経済社会の新しい成長に挑戦する重要な政策であり、関係省庁一体で進めていくよう、指示があったところ。

- ・文化庁として、大阪・関西万博に向けて「日本博 2.0」を中核としつつ、文化芸術の力で日本社会全体をシフトアップさせていくための取組を進めていきたい。関係府省庁の皆様とも協力して進めていきたいので、よろしくお願いしたい。

○横幕厚生労働省大臣官房審議官

- ・健康・医療分野に 7 つの取組を新しく追加。
- ・その 1 つとして、「再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信」というテーマで追加しており、この分野での臨床研究支援や実用化のための技術的支援などを進め、2025 年に革新的な研究開発の成果について、万博会場内外で効果的な発信をできればと考えている。例えば、バイオ 3D プリンターを用いて人工血管を作るという世界初の技術があるので、こういった開発状況を踏まえながら、どのように技術をアピールできるか具体的な方法を検討していきたい。
- ・その他のテーマとしては、先進的な医薬品・医療機器、高齢者・障害者の生活を支える技術、企業や個人が主体的に健康づくりに取り組んでいくプロジェクト、認知症のバリアフリー社会の実現、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの世界への発信といったテーマを追加している。
- ・万博は貴重な機会であり、今回紹介したテーマはこれまでの蓄積、知見など様々なものがあるので、これに新しい技術を組み合わせて先進性をしっかりアピールできるように、引き続き関係府省、協会とも相談しながら検討を進めていきたい。

○村田観光庁次長

- ・観光庁として、アクションプランへ 2 つ施策を登録している。
- ・「DX の推進による観光サービスの変革と観光需要の創出」については、万博も視野に入れながら、旅行者の体験価値向上、消費機会の拡大、来訪意欲の増進、顧客定着といった目的を実現するため、デジタル技術を活用した新たな観光コンテンツの創出や観光地経営の改善といった実装に向けて推進する。
- ・「大阪・関西万博の機会を活用した訪日プロモーション」においては、日本政府観光局を通じて、日本各地の大阪・関西万博関連イベントや日本文化の魅力の発信を取り入れた形の訪日プロモーションを推進することで、インバウンドの誘客、万博効果の波及を図る。
- ・万博は世界からの日本への注目度を高め、訪日意欲を一層喚起できる絶好の機会であると考えてるので、観光庁としては多くの外国人旅行者の来訪を促すことにとどまらず、日本全国への誘客を促し、開催効果を日本全体へ波及させることが大事であると考えている。内閣官房、関係府省庁と連携して取り組んでいきたい。

4. テーマ Week プロジェクト等について説明

○岩田 2025 年日本国際博覧会協会経営企画室長から説明

5. 分科会からの報告

○下田内閣官房危機管理審議官

- ・万博のテロ対策及びサイバー対策の分科会の会長及び会長代理を務めている。
- ・万博の安全安心の確保は、これまで関係府省庁、地元関係機関及び博覧会協会が連携してテロ対策、警備対策、防災対策及びサイバーセキュリティ対策について議論し、不測の事態へ備えた検討を進めている。
- ・最近の取組については、ドバイ万博に事務局の職員が出張し、警備対策及び防災対策の状況を視察した。ドバイ万博のセキュリティ対策上の知見を活用するという観点から先日開催した分科会において関係府省庁、地元機関と視察結果を共有した。
- ・今後もこれらの分科会において、関係府省庁や博覧会協会の実施する取組を確認しつつ情報の共有を行い、地元関係機関と緊密に連携し、会場内外のセキュリティ確保、防災・減災対策など万全な体制整備に取り組んでいく。

6. 制度改革分科会の設置等

○高科国際博覧会推進本部事務局次長

- ・資料4：アクションプラン Ver.2において、必要な制度整備に向けた検討の場を政府内に設ける旨盛り込んでおり、関係府省庁連絡会議の下に制度改革分科会を設置することとする。
- ・資料5～6：幹事会、分科会の構成員の一部変更について示している。

○質疑・応答

特になし。

○高科国際博覧会推進本部事務局次長

- ・引き続きご協力をお願いしたい。
- ・幹事会、分科会の設置、変更については本日の連絡会議をもって決定とする。

4. 閉会挨拶

○若宮大臣

- ・半年後の次回の改訂に向けて、工程表に基づき、施策の内容、実施主体などのさらなる具体化を着実に進めるとともに、新たな施策の追加も積極的に検討いただきたい。
- ・万博はまさに国家的プロジェクト。会場の中を超える、メタバースや仮想空間を含めた展開、また、首長連合の会合の場でも申し上げたが、大阪・関西万博を、「地域に人や投資を呼び込み」、「地域から発信し」、「世界と繋がり」、そして「地域で稼げる」、そうした地域活性化の絶好の機会として捉えていただくことが重要。各地域の皆様には、是非、ビジネス感覚を持って様々な活動に取り組んでいただき、その活動の果実を地域でしっかり回収していただきたいと考えている。日本全体の富を増やしていくという発想を持って取り組んでほしい。
- ・観光、復興、デジタル田園都市国家構想、地域ツーリズム等、地域の魅力の発信やインバウンドに関連する取組は、バラバラに取り組むのではなく、関係府省庁で連携して取り組んでいく必要がある。観光庁を中心に関係省庁が連携して、万博会場に加えて各地を巡る

方策を検討していただきたい。

- ・日本には先進的な防災・減災技術、宇宙・海洋分野の技術など世界に誇る技術が沢山ある。万博会場においては、参加国、企業、自治体の各パビリオンがあるが、それを複層的に横串を刺すような形でのテーマ Week を設けようと考えている。例えば宇宙、環境、水、農業等のテーマをどういった切り口で捉えるかによって、「もの」だけでなく「技術」、「ノウハウ」をアピールするビジネスマッチングの場にもできればと考えている。万博に合わせてフォーラムやセミナーなどを誘致し、各国の大使や外交官の方などテーマ Week でお越しになる方々が各地で開催するフォーラムなどに参加することで、ビジネスマッチングの場となる可能性が出てくるのではないかと考えている。
- ・先ほど、私も同席して、大阪・関西万博のナンバープレートを発表した。各府省庁の公用車において是非採用いただき、機運醸成にもお力添えをお願いしたい。
- ・新たな制度整備や規制改革などについても、例えば、ドローンによる宅配や空飛ぶクルマを社会実装し、市場を創出していく、また、生活に身近なものとして普及させていくためには、機体開発、安全基準、離発着場、運航管理などに加え、保険の仕組みなど、関連する様々な環境整備もあわせて進めていくことが必要であり、関係する省庁と調整していただきながら同時並行で進めていただきたい。その際、今ある仕組みを前提とするのではなく、新しい仕組みやルールを生み出していくという姿勢が欠かせない。こういう問題があるからできない、ではなく、どうしたらできるのかという視点で、個別具体のケースに沿って、それぞれの所管分野において、しっかり対応していただきたい。
- ・開幕まで3年を切った。秋にはBIEのミーティングがあり、参加される各国の代表の方々が来られるため、その時には個別具体のテーマや実施内容を示さないといけない。今回、アクションプラン Ver. 2については皆様方のお力添えにより前に進むが、アクションプラン Ver. 3を出す前にある程度方向性ができていなければ世界各国に発信できないので、引き続きご協力をお願いする。

○高科国際博覧会推進本部事務局次長

- ・今後も、引き続きアクションプランの改訂にご協力いただきたい。